

事業計画書

事業名	JA佐久浅間助け合いの会「ほほえみ広場」	
重点テーマへの該当	有 <small>テーマを記載</small>	
	(無)	
実施箇所	地域の公民館・公会場、JA遊休施設 等	
実施期間	事業開始予定年月日 令和2年 4月 1日	
	事業終了予定年月日 令和3年 3月31日	
事業概要	<p><事業の目的> 一人暮らし世帯や高齢者世帯が増えています。高齢者が可能な限り住み慣れた生活の場で安心して自分らしい生活が続けられる地域づくりをめざすため、定期的に歩いて参加できる身近な地域の交流の場で、みんなで支えあう地域力をつけることを目的とした「ほほえみ広場」を開催します。また、同広場を設営する活動会員が自らの健康を守り、元気で長生きでき、「ほほえみ広場」を持続可能な活動をするために、資質向上や自己研鑽の研修会・学習会を開催します。研修会・学習会を公開講座にし、地域の皆さんにも参加をしていただけるように、広報活動により広くお知らせしていきます。</p> <p>地域での交流の場、ふれあいの場の持続可能な活動をめざしとして、歩いて参加できる場所として定期的に開催し、地域のみなさんとふれあい・交流をする機会をつくり、みんなで支えあう地域力をつくることを目的とした「ほほえみ広場」の会場数を3か所、新規開設をしていきたい。最終年度の今年度は、地域マップを作成し、活動を展開していきたい。</p> <p><事業の内容> (1) 「ほほえみ広場」の設営をする活動会員が自ら健康を守り、元気で長生きし、「ほほえみ広場」が地域で持続可能な活動にするため、地域のみなさんの理解や関心を得て、多くの活動会員を増やすため、会員や地域住民に向けた公開講座・研修会・学習会を開催します。（年7回の予定） 公開講座・研修会・学習会は次の内容で本年度は予定しております。①ボランティアの気持ちを育て、最寄りの地域で地域力をつけるための話②専門家から、高齢者や認知症の理解をするうえの認知症専門研修③「生きる喜び」や「楽しみ」を見出す支援をするため、手先や頭を使う趣味創作技術を身につけ、集団の中での指導をする講義・実践④「生きる喜び」や「楽しみ」を見出す支援をするため、レクリエーションについて専門的な知識・ノウハウを学び、身につけ、転倒予防等の介護予防体操を、参加者へ指導を行うための講義・実践です。活動会員が地域で、自主的に、より実践できる内容を行う予定です。 (2) JA広報紙・チラシを作成して、JA内の組織はもとより、地域住民へのPR活動を行います。「ほほえみ広場」地域マップづくりを行います。 広報誌・チラシの作成については、見やすく、参加したくなるようなチラシづくりに心がけるとともに、専門家によるチラシの作成をします。JAの組織としては、月に1回ある、職員による訪問活動日でチラシの配布、毎月のJAHOO（JA広報誌）、季節ごとに発信されるJA支所・店だよりへ掲載をします。メディアとしては、『信濃毎日新聞の東信版』や『週刊さくいだいら』、『佐久市民新聞・小諸新聞』、『ご近所かわら版』等の活用をし、PR活動を行います。また、「ほほえみ広場」の案内は、最寄りで配布できるように、JA支所・店・集落の小さいエリア単位でチラシ配布をします。また、行政区や民生児童委員等の関係のみなさんへのご案内をし、お誘いし、ご理解やご支援、ご協力をお願いします。活動会員は、地域の方に声かけを行い、安否確認をします。 (3) 「ほほえみ広場」の新規開設会場目標・・・ 3会場 今年度、旧佐久市地区・臼田地区・望月地区の3エリアでの新規開設を予定します。</p>	

<p><達成目標></p> <p>①「ほほえみ広場」の新規開設3会場 ふれあい・交流の少なくなっている今、地域での交流の場、ふれあいの場として、歩いて参加できる場所での「ほほえみ広場」を定期的に開催し、地域のみなさんとふれあい・交流をする機会をつくり、みんなで支えあう地域力をつくることを目的に開催します。 また、活動会員を増やし、歩いて参加できる場所での「ほほえみ広場」の会場数を3か所、新規開設予定としたいと思います。</p> <p>②「ほほえみ広場」のマップづくり</p>	
<p><広報表示の方法（佐久市まちづくり活動支援金事業である旨の表示）></p> <p>印刷物には、「令和2年度 佐久市佐久っと支援金事業活用」と印刷表示します。</p>	
<p><重点テーマに該当する場合 該当する理由（アピール）></p>	

年間計画	4月	年間の計画樹立 各地域での「ほほえみ広場」の実施、全体交流会（笑いヨガ） ↓
	5月	↓ 会員募集のチラシの配布
	6月	↓ お出かけほほえみ広場
	7月	↓ 全体研修会・講演会（生涯スポーツ体験）・お出かけほほえみ広場（望月・浅科地区）
	8月	↓ 地区活動会員定例会・学習会（各地区）
	9月	↓ お出かけほほえみ広場 マップづくり
	10月	↓ 公開講座・講演会（高齢者に優しい活動や事業の学習会）
	11月	↓ 地区活動会員定例会・学習会（各地区）
	12月	↓ 活動会員定例会・学習会（各地区）
	1月	↓ 活動会員実践交流会

	2月	↓ 全体研修会・講演会(介護食)
	3月	↓ ボランティア共済更新・通常総会
特記事項	地域や社会にどのような利益がもたらされるか	<p><「公益性」の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域で可能な限り暮らせます。 ・引きこもりがなくなります。 ・要虚弱高齢者の早めの発見ができます。 ・地域でのふれあいサロン(お茶会)等開催されているが、対象者にとっては、何回あっても喜ばれます。他のふれあいサロン(お茶会)等と日程等が重ならないように工夫します。 ・公開講座・講演会を行い、活動を案内することにより、地域住民への周知できます。 ・広く大勢の皆さんに「ほほえみ広場」を知ってもらおう。
	どのような点に独自性や工夫があるか	<p><「発想の豊かさ」や「創意工夫」の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA内の組織にJA女性会があります。今年度は、JA女性会とのコラボを考えております。 ・現在、JA女性会は佐久市内の122集落(班)の女性の皆さんの会員の加入があります。JA女性会に働きかけ、「ほほえみ広場」の開催可能な集落(班)に、お試し(とりあえずやってみよう企画)開催を提案します。各集落(班)では、区長や関係者へ依頼、会場の設営・地域のお年寄りへの声かけをお願いします。助け合いの会としては、会場に活動会員を派遣し活動指導をする、仕組みづくりを考えます。
	市内へどのように取組が波及していくことが見込まれるか	<p><「波及効果」や「発展性」の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の工夫により、佐久市内の集落(班)に「ほほえみ広場」開設会場が増え、輪が広がります。
	活動を継続するためにどう取り組むか	<p><「自立性」の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者には、遠慮なく、気兼ねなく参加できるように工夫します。 ・活動会員の定例の会議・研修会を開催し、研鑽をはかります。また、活動会員もいきいきとできるように工夫します。 ・広報紙・チラシを作成し、PR活動を行い、会員拡大をはかります。 ・地域での活動は活動会員の自主性を大切に、持続可能な活動にするために、JAの事務局は企画総務部ふれあい広報課が引き受けます。
	翌年度以降の活動内容概要	
事業の最終目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほほえみ広場」の新規開設を含め、地域全体で開催会場数を増やしたい。 ・地域で活躍していただく、活動会員数を増やしたい。 ・「ほほえみ広場」の活動を包括支援センター等と連携をし、広く広めていきたい。周知をしたい。 ・「ほほえみ広場」と子供とのかかわりをしていきたい。 ・長野県や各行政の関係者、地域住民に知っていただく機会になります。また、大勢の皆さんが参加いただけるきっかけになります。 ・各行政や長野県、関係各位からのご指導をお願いします。 	